

近畿雑草研究会ニュースレター No.33&34 合併号

近畿雑草研究会

ご挨拶

代表 黒川 俊二

私は2023年より2年間当会の代表を務めさせていただきました。日頃より当会の活動にご協力いただきありがとうございます。活動報告にあります通り、庶務・会計を担当していただいています吉野康佑氏を中心に現地研究会を企画・運営してまいりました。それぞれの現場での深刻な雑草問題について現場の状況を共有でき、活発な意見交換の場になったかと思いません。関係者の皆様におかれましては当会の活動に積極的にご協力いただき誠にありがとうございました。改めまして感謝申し上げます。

本来であれば代表としての任期を終え後任の方にお引き継ぎすべきところでしたが、総会でご承認いただきました通り、さらに2年間代表を務めさせていただくこととなりました。さらなる活発な研究会となるよう活動していきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

1. 23年度活動報告

(1) 現地研究会

2023年9月1日(金)に、現地研究会「近畿の豆類場面の雑草防除を考える」を京都府農林センターおよび現地圃場にて開催した。4名の講師を迎え、「京都府の小豆栽培における雑草防除の取り組み」(京都府農林技術センター:羽根様)、「パワーガイザー®液剤の豆類場面での薬剤特

性と近畿地方での使用事例」(BASFジャパン株式会社:木村様)、「アタックショット®乳剤の豆類場面での薬剤特性と近畿地方での使用事例」(丸和バイオケミカル株式会社:渡邊様)、「除草ロボットの開発状況と今後の展望」(農研機構農業機械研究部門:吉田様)の4題の講演と、総勢31名(会員13名、非会員15名、学生3名)の参加者とともに、小豆栽培現地圃場視察会を通じて、豆類場面の雑草問題、除草剤での防除事例、外来種のヒロハフウリンホオズキの防除課題やみどり戦略の達成手段のひとつとして期待される除草ロボットについて、活発な議論が行われた。外来種に対する初動の重要性、同じ豆類でも栽培体系や使用できる除草剤が異なることによる難しさがある中で、大豆での技術を応用できそうな場面も感じられ今後の展開に期待される。



(京都府での小豆圃場現地視察の様子)

(2) 総会
2024年1月23日(火)にメールによる書面での総会を開催した。

2. 22年度会計報告等

近畿雑草研究会総会において承認された2022年度の収支決算報告・会計監査報告ならびに2023年度の予算案を以下に転載する。

(1) 2022年度収支決算報告

(会計年度：2022年4月1日
～2023年3月31日)

| 収入の部 | |
|--------|---------|
| 科目 | 金額(円) |
| 前年度繰越金 | 161,777 |
| 勉強会参加費 | 0 |
| 本学会助成金 | 0 |
| 合計 | 161,777 |

| 支出の部 | |
|------------|---------|
| 科目 | 金額(円) |
| 講演会講師旅費・謝金 | 75,000 |
| 事務・通信費 | 336 |
| 予備費 | 86,441 |
| 合計 | 161,777 |

差引残高 86,441 円。
残金は次年度に繰り越します。
上記の通り、相違ありません。

2024年1月15日

庶務・会計幹事

吉野康佑 ㊞

(2) 2022年度会計監査報告

2022年度の近畿雑草研究会の会計に関し、会計帳簿、証拠書類(領収書、会費受付記録等)お

よび預金通帳を検査照合した結果、収支とも適正に執行され、決算書に適正に表示されていることを認めます。

2024年1月22日

会計監査 大谷正孝 ㊞

会計監査 大橋善之 ㊞

(3) 2023年度予算案

(会計年度：2023年4月1日
～2024年3月31日)

収入の部

| 科目 | 金額(円) |
|----------|---------|
| 前年度繰越金 | 86,441 |
| 会員年会費 | 14,000 |
| 研究会参加費 | 4,000 |
| 情報交換会参加費 | 86,000 |
| 本学会助成金 | 0 |
| 合計 | 190,441 |

支出の部

| 科目 | 金額(円) |
|------------|---------|
| 研究会講師旅費・謝金 | 35,000 |
| 研究会バス代 | 33,000 |
| 研究会情報交換会費 | 108,900 |
| 事務・通信費 | 336 |
| 予備費 | 13,205 |
| 合計 | 190,441 |

3. 24年度活動報告

(1) 現地研究会

2024年12月2日(月)に、現地研究会「淡路島でのナルトサワギクの事例から特定外来生物(雑草)を考える」を兵庫県立淡路景観園芸学校および現地にて開催した。2名の講師を迎え、「淡路島におけるナルトサワギクの分布状況と防除の可能性」(兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科長：藤原様)、「除草剤によるナルトサワギクの防除についての一考察」(元植物調節剤研究協会兵庫試験地：須藤様)の2題の講演と、総勢21名(会員15名、非会員2名、学生4

名)の参加者とともに、ナルトサワギク発生現地視察会を通じて、ナルトサワギクの生態、防除事例、特定外来生物の防除課題や生息情報について、活発な議論が行われた。会では会員から、ナルトサワギクの他にも特定外来生物に関する情報が寄せられ有意義な情報交換が行われた。ナルトサワギクの場合、人的要因等により道路際やダム周辺など造成地へ分布拡大していった様子と、ボランティア含め地域住民の理解と協力を得て対策が為されている淡路の現況を体感することができた。効果的な対策には、やはり対象植物種の生態特性をよく理解することが重要であると実感された。



(淡路島でのダム付近群生地視察の様子)

(2) 総会

2025年4月15日(火)にメールによる書面での総会を開催した。

これまで当会は会員より年会費として1,000円を徴収していたが、現地研究会の参加者から参加費として回収することで運営することへの承認を得た。また、近畿雑草研究会名義の預金口座を2024年12月6日付で解約し、これに伴う規約の改定についても承認された。

また、2025年度から2年間の役員を下記の通り継続することが承認された。

代表：黒川俊二

庶務・会計幹事：吉野康佑

会計監査：森本正則・杉本充

4. 23年度会計報告等

近畿雑草研究会総会において承認された2023年度および2024年度の収支決算報告・会計監査報告ならびに2024年度および2025年度の予算案を以下に転載する。

(1) 2023年度収支決算報告

(会計年度：2023年4月1日

～2024年3月31日)

収入の部

| 科目 | 金額(円) |
|----------|---------|
| 前年度繰越金 | 86,441 |
| 会員年会費 | 12,000 |
| 研究会参加費 | 6,000 |
| 情報交換会参加費 | 86,000 |
| 本学会助成金 | 0 |
| 合計 | 190,441 |

支出の部

| 科目 | 金額(円) |
|------------|---------|
| 研究会講師旅費・謝金 | 35,000 |
| 研究会バス代 | 33,000 |
| 研究会情報交換会費 | 108,900 |
| 事務・通信費 | 655 |
| 合計 | 177,555 |

差引残高 12,886 円。

残金は次年度に繰り越します。

上記の通り、相違ありません。

2025年3月27日

庶務・会計幹事

吉野康佑 ㊞

(2) 2023年度会計監査報告

2023年度の近畿雑草研究会の会計に関し、会

計帳簿、証拠書類（領収書、会費受付記録等）および預金通帳を検査照合した結果、収支とも適正に執行され、決算書に適正に表示されていることを認めます。

2025年4月11日

会計監査 森本正則 ㊟

会計監査 杉本充 ㊟

(3) 2024年度予算案

(会計年度：2024年4月1日
～2025年3月31日)

収入の部

| 科目 | 金額(円) |
|--------|--------|
| 前年度繰越金 | 12,886 |
| 研究会参加費 | 15,000 |
| 本学会助成金 | 0 |
| 合計 | 27,886 |

支出の部

| 科目 | 金額(円) |
|------------|--------|
| 研究会講師旅費・謝金 | 15,000 |
| 予備費 | 12,886 |
| 合計 | 27,886 |

(4) 2024年度収支決算報告

(会計年度：2024年4月1日
～2025年3月31日)

収入の部

| 科目 | 金額(円) |
|--------|--------|
| 前年度繰越金 | 12,886 |
| 研究会参加費 | 15,000 |
| 利子 | 4 |
| 本学会助成金 | 0 |
| 合計 | 27,890 |

支出の部

| 科目 | 金額(円) |
|------------|--------|
| 研究会講師旅費・謝金 | 15,000 |
| 合計 | 15,000 |

差引残高 12,890 円。

残金は次年度に繰り越します。

上記の通り、相違ありません。

2025年4月7日

庶務・会計幹事

吉野康佑 ㊟

(5) 2024年度会計監査報告

2024年度の近畿雑草研究会の会計に関し、会計帳簿、証拠書類（領収書、会費受付記録等）および預金通帳を検査照合した結果、収支とも適正に執行され、決算書に適正に表示されていることを認めます。

2025年4月11日

会計監査 森本正則 ㊟

会計監査 杉本充 ㊟

(6) 2025年度予算案

(会計年度：2025年4月1日
～2026年3月31日)

収入の部

| 科目 | 金額(円) |
|--------|--------|
| 前年度繰越金 | 12,890 |
| 研究会参加費 | 30,000 |
| 本学会助成金 | 0 |
| 合計 | 42,890 |

支出の部

| 科目 | 金額(円) |
|------------|--------|
| 研究会講師旅費・謝金 | 20,000 |
| 研究会会場費 | 20,000 |
| 予備費 | 2,890 |
| 合計 | 42,890 |

以上

(お詫び)

23年度分のニュースレターの発行が遅れ合併号となってしまいましたこと、深くお詫び申し上げます。至らぬ幹事で申し訳ありませんが、引き続きよろしくお願いいたします。 吉野康佑

発行 近畿雑草研究会

代表 黒川 俊二

(京都大学大学院農学研究科 雑草学分野)

庶務・会計幹事 吉野 康佑

(三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社)

E-mail : Kousuke.Yoshino@mitsuichemicals.com

事務局 京都大学大学院農学研究科

雑草学分野

〒606-8502

京都市左京区北白川追分町